

佐賀県警へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を5千部贈呈

～県内で多発する高齢者事故の防止に向けて協力を確認～

一般社団法人日本損害保険協会佐賀損保会(会長：溝口百合子 三井住友海上火災保険株式会社 佐賀支店長)では、11月6日(木)、佐賀県警に贈呈した5千部の「高齢者事故防止啓発チラシおよび反射材(ブラックほたるくん)」の贈呈連携式を実施しました。

始めに溝口損保会会長から、「令和7年9月現在佐賀県内の交通事故死亡者数は11名と昨年同時期に比べ、幸いにも4名減少しております。しかしながら依然として、65歳以上の高齢者の死亡者数が4名、次期高齢者となる60歳以上の年齢層では7名と全体の約3分の2近くを占めている状態となっています。これからの時期は日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発していることから、引き続き佐賀県警の皆様から高齢者等に対し、贈呈したチラシを活用して注意喚起いただくとともに、歩行者の早期発見につながる反射材を配付いただき、交通事故防止に役立てていただきたい。」また、「贈呈したチラシは、すでに10月6日、10月17日と「啓発キャンペーン」や「高齢者健康フェスタ」の機会に佐賀県警の皆様から配布頂いており、高齢者の交通事故防止にお役立て頂けていると聞いております。誠にありがとうございます。」と挨拶がありました。

チラシ等の贈呈を受けた佐賀県警察本部 鶴丸 晶子管理官からは「高齢者の方々は比較的黒っぽく、茶系の色合いの衣類を好まれるようで、この反射材を貼ることで、ドライバーから、より視認しやすくなるのが好評です。また、贈呈いただいた反射材は引き続き、高齢者およびその家族に届けて、さらに事故防止に役立てていきたい。」とお礼の挨拶がありました。

佐賀損保会では、引き続き、県警等との協力関係を深めながら、今回のような高齢者事故の防止活動をはじめとする交通事故防止活動に取り組んでいきます。



贈呈の様子



贈呈式記念写真